

2023年10月13日

ローム株式会社

ロームグループ マレーシア工場に新棟竣工

需要が拡大する絶縁ゲートドライバICを中心にアナログICの生産能力を強化

アナログICの生産能力強化のため、マレーシアの製造子会社であるROHM-Wako Electronics (Malaysia) Sdn. Bhd. (以下、RWEM)に建設していた新棟が、このたび完成し、竣工式を執り行いました。

RWEMでは、これまでダイオードやLEDなど小信号デバイスを中心に生産しておりましたが、新棟ではアナログICの注力商品の一つである絶縁ゲートドライバの生産を予定しています。

絶縁ゲートドライバは、IGBTやSiCといったパワー半導体を最適に駆動させるためのICで、電気自動車や産業機器の省エネ、小型化を実現する上で重要な役割を果たすため、需要の拡大が期待される商品です。

今回、生産能力強化を図るとともに、BCM(事業継続マネジメント)の観点からアナログIC生産工場の多拠点化を推進するため、RWEMとして初めてICの生産を開始します。

新棟は、さまざまな省エネルギー技術を用いた設備を導入し、環境負荷軽減(従来比CO₂ 約15%削減見込)に努めるとともに、最新の各種災害対策を導入することによりBCM体制の一層の強化を図っております。今後、製造装置の導入を進め、2024年10月より稼働予定で、RWEM全体の生産能力は最終的に約1.5倍になる見込みです。

ロームグループは、今後も市場の状況をとらえながら、中期経営計画に基づいた生産能力の強化を進めるとともに、BCM対策を徹底し、お客様への安定供給に努めてまいります。



竣工式の様子



<RWEM新棟 概要>

構造	地上3階
建築面積	9,860㎡
延床面積	29,580㎡
竣工	2023年8月
稼働予定	2024年10月
住所	マレーシア クランタン州 コタバル

<社名変更のお知らせ>

RWEMは2024年1月に社名を「ROHM Electronics (Malaysia) Sdn. Bhd.」に変更しますので、あわせてお知らせいたします。竣工式では、社名変更のセレモニーも実施いたしました。



新社名発表の様子

ローム・ワコー株式会社 名誉会長 吉岡 洋介（右）

ローム株式会社 代表取締役社長 松本 功（中央）

ROHM-Wako Electronics (Malaysia) Sdn. Bhd. 代表取締役社長 橋本 秀起（左）

<この件に関するお問合せ先>

ローム株式会社 広報室

〒615-8585 京都市右京区西院溝崎町21

TEL:(075)311-2121 E-mail:press@rohm.co.jp